



2025春闘を職場・地域から闘おう！ ⑨

## 東海のベアは極端に低い！ ペテンに満ちた回答に抗議！ 2025春闘第7回再申し入れ団交

本部は本日、2025年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求に関する再申し入れ（『申第15号』）に対する第7回団体交渉を開催しました。これは、第6回団体交渉で、ベア8,000円、夏季手当3.05ヶ月の回答に対し、こんな低額では話にならないし、検討にも値しないとして、その場で再申し入れたものです。

本部は「ベアはJR東日本で1万3,000円超、JR西日本で1万2,200円である。純利益は、JR東日本はJR東海の約半分強、JR西日本は3分の1以下だ。JRトップの純利益を計上している。賃金抑制もはなはだしい。ベアを抑制する理由はない。他の民間企業でも、軒並み1万5,000円前後のベアを出している。8,000円と結論付けた会社内部での議論はどういうものか。全社員を対象としない調整手当増額分と『育児・介護・治療・転勤等に係る制度の見直し』で、社員平均1,900円を含めた金額までも賃上げとして回答したが、これは全社員が受け取れる手当ではない。賃上げとは、退職するまで受け取れる賃金のことだ。一時金までも賃上げ回答に入れることは、ペテンだ。抗議する。社員からは詐欺との意見も出ている。出ししぶりの要因は、リニアの他にも何かあるのか。社員の切実な要求であるベアは1万8,000円、夏季手当は3.5ヶ月+10万円、更に専任社員は+5万円、基準昇給額1,500円・逡減撤廃せよ」などと主張しました。

会社は、「当社の経営状況、取り巻く情勢などを踏まえ、総合的に判断した精一杯の回答だ。純利益が良いからといって、ベアを上げるとはならない。他社と単純に比較はしない。会社内部での議論については差し控える。回答を撤回する考えはない」などと、激しく対立しました。

本部は、持ち帰り検討としました。